

【 診療科:婦人科】

【 レジメン登録番号:GY-28 】

〈 TC+Bevacizumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)												
			1	2	3	4	5	6	7	8		15		21	
ベバシズマブBS (アバスチン)	15mg/kg	div	○												
パクリタキセル	180mg/m ²	div	○												
カルボプラチン	AUC:5~6	div	○												

【1コース期間: 21日】

【総コース数: 卵巣癌:6コース(終了後はベバシズマブBS単剤へ)、子宮頸癌:制限なし】

【適応癌種: 卵巣癌・子宮頸癌 】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ベバシズマブBS 15mg/kg	div(初回90分、2回目60分、3回目以降30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	H ₂ Blocker 1A	div(10分で)
	デキサート 9.9mg	
	ポララミン 5mg	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	5HT ₃ RBlocker 1A	div(30分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.4	パクリタキセル 180mg/m ²	div(180分で)
	5%ブドウ糖 500mL	
Rp.5	カルボプラチン AUC:5~6	div(60分で)
	5%ブドウ糖 250mL	
Rp.6	生理食塩水 50mL	div(フラッシュ用、全開で)

【参考文献:N Engl J Med 2011;365:2473-83、Gynecologic Oncology 165(2022)413-419】

【変法情報: イメンド(アプレピタント)を使用しない場合は、デキサートの投与量を19.8mg/回に倍増する。】